

行事予定表		
3	火	ピヨピヨひろば
5	木	交通安全教室(3歳児以上) 子育てサロン/読み聞かせ
6	金	七夕集会/写真撮影
9	月	笹焼き
13・14	金・土	お泊まり保育(5歳児)
17	火	巡回相談
18	水	おべんとうデー
19	木	ケチャマヨコンサート/子育てサロン
24~26	火~木	職場体験(牛久三中より)
26	木	誕生会
27	金	避難訓練
30	月	プール写真(予備日31日)



一年で最も昼の長い夏至が過ぎ、ついでの間までは、5時過ぎには暗くなっていったのに、随分日暮れが遅くなった。

5月の連休に植えられ水の中から弱弱しく顔を出していた稲もすっかりたくましく青々と繁り涼風にそよいでいる。

雨雲と紫陽花に代わり、いよいよ入道雲とひまわりの出番。

6月初めに組み立てられたプールも冷たい雨に打たれて出番を待っている。一人だけ、いつまでも「じいちゃん」と言っていた子もやつと「エンチョウセンセ」と言えるようになった。

みんな大きくなって、いよいよ夏本番。

### 保護者会主催の夏祭り(8/18)

来月はいよいよ夏祭りです。役員の方々は着々と準備をして下さっています。今年も当日のイベント参加は2歳児以上(にじ・ひかりは自由参加)となります。

夏祭り当日の土曜保育は15時までです。



### 今月の予定の中から...

#### ●交通安全教室(5日)

今月からは、だいちぐみ、きりんグループの子ども達も参加します。信号の見方・渡り方をパネルシアター等で楽しく、交通规则を学びます。

#### ●七夕集会・クラス写真撮影(6日)

「さささの」は「さくらさら」子ども達の歌声が園内に聞こえています。短冊や笹飾りが、風に乗って揺れる様子を嬉しそうに見上げる子ども達を見ると、七日の夜は、沢山の星空を見て欲しいと願っています。

#### ●お泊まり保育(13・14日)

5歳児が保育園でお泊まり保育をする日が近づいてきました。今年、電車に乗って夕飯や朝食の食材を買いに行きます。メニューや食材についても子ども達が話し合い、決めていきます。今後、キャンドル作りなどの活動を通し、当日までの過程を大切にしていきます。そして、園全体でぞうグループを応援していきます。

#### ●おべんとうデー(18日)

暑い日が続いていますので、お弁当は必ず冷ましてから蓋を開け、要冷蔵のものは入れないようにして下さい。

#### ●ケチャマヨコンサート(19日)

大きな絵と音楽で子ども達に楽しい時間を演出してくれることでしょう! コンサートを保護者会費より出して頂いて頂きます。いつも有難うございます。

### ●誕生会(26日)

今月は先生達からの迫力のある出し物です! 子ども達の反応が楽しみです。

#### ☆お願い★お知らせ

☆お子さんの衣服はシンプルなお願ひします。(フリルやスカート、スカートズボン、紐のついた衣服は遊具に引っかかり、転倒・怪我に繋がりますので保育園には着てこないようにお願いします。)

☆夏場も運動靴をお願いします。

(子ども達の履物は、クロックス、サンダル等足のつま先、かかとの出るものは怪我に繋がるためご遠慮下さい。)

#### ☆園内の表示物や連絡王の内容は、必ず確認して下さい。

★先月末で非常勤職員の櫻庭昭子先生が体調不良の為退職となりました。また、非常勤保育士として大和いづみさんが勤務しています。どうぞ宜しくお願いします。

### ルールを守るじじ

規範・規則がゆるくなった。ルール(規則)を守ることで成り立つスポーツの世界でも、規範を作っているはずの政治の世界でも、規範が守られていない。自由主義の世界では自由貿易が原則である。自国中心、もうかれれば良いと、「保護主義」に走るのは反則である。勝利至上主義、勝つためには何をやってもいいという訳はない。5月の園便りで「正々堂々」という話をした。モリ・カケに始まり、アメフト、トランプ。ウン(フェイク)。ネット造・反則が横行している。ウン・ネット造・反則ばかりなので、国民もマヒして鈍感になっていくのか、政権は安泰である。▼ホイジンガーが「ホモ・ルーデンス(遊ぶ人)」の中で、人間の文化は「遊び」の中で生まれたと、述べている。ス

ポーツも「遊び」の中で生まれた。「遊び」の中では、行き過ぎを防ぎ、楽しくやるためのルールが作られる。子ども達の「遊び」も同様である。自己実現するために、全身全霊をかけ、夢中になって正々堂々とルールを守り、戦い、挑戦するから、人格が磨かれ、前より前進した自分を作られる。遊びの世界では余裕があり、きびしくとも、楽しさがある。強制されたり、比較されたりしない。自由で自主的である。それが、どうだろう。「勝たなければ全てダメ」という勝利至上主義、スポーツの目的から離れた商業主義、過度の競争、記録の追求、苦しさばかり増えて、楽しさ、余裕がなくなっている。▼TVで、バレーボールのスーパーコーチに指導を受けた中学生のことが放映されていた。練習の最後に、強豪ママさんバレーボールチームと対戦することになって、接戦の末、逆転されて1点差で敗れた。コーチは「残念、悔しい!」とは言わず、なんと「おめでとう。とても良かった。」と言った。そして一人一人に、昨日より良くなっている点を挙げて「良いプレーだった。素晴らしい!」と声をかけていた。勝ち負けより、一人一人が昨日より成長し、自己充実していることが重要であることを自然に表現し、中学生に体得させていた。中学生は涙などなく、満ち足り、輝いて、自信に溢れる表情をしていた。反則のならず者両首脳や、商業主義・金まみれのIOC、スポ根の監督をはじめ、ルール違反の大人達に見せなかった。そして、私達みんなが、もっと余裕を持ち、自由で、楽しい「遊び」を大切に、ルールを守り、正々堂々と生きるようにしたい。

理事長 浅田 精利

